



4本の優勝旗獲得 平成16年度高総体の結果!!

平成16年度第56回長崎県高等学校総合体育大会総合開会式が、6月4日(金)佐世保市総合グラウンド陸上競技場にて行われました。島原高校生は各種競技に参加して、日頃の努力の成果を存分に発揮し、見事に4本の優勝旗を持ち帰ってきてくれました。剣道部男子4年ぶり3回目の優勝、剣道部女子4年連続4回目の優勝、弓道部男子は大会史上初3年連続10回目の優勝、ソフトテニス38年ぶり5回目の優勝でした。



島高だより
第2号
長崎県立島原高等学校
編集：情報図書部

剣道部男女

高総体優勝を達成して

剣道部顧問 渡邊孝経

男女ともに優勝候補筆頭としてのもんだ大会だったが、正直、男女ともに優勝出来、ホッとしている。今後の九州大会、玉竜旗、インターハイでも皆様の期待に応えられるよう、頑張らせない。また、全校応援は大変心強く感じられたと同時に、そのマナーの良さに感謝したい。

(男子主将 前川矩英)



今年の高総体では、個人戦でくやしい思いをした分、団体戦で優勝することが出来ました。このような結果が出せたのも、自分達の力を、しっかりと出すことが出来たからだと思います。インターハイでも上位の成績を残せるように頑張ります。

(女子主将 中村 綾)

今まで積み重ねてきたことを精一杯出すことができ、チーム一丸となつて試合することができたと思えます。これも、御指導して下さった先生方や応援して下さいました。ありがとうございました。



弓道部男子

弓道部男子顧問 吉田俊生

弓道は、安定した成績を出し続けるのは難しい。今回の成績も初めは最悪だった。二日目以降順調になり三連覇につながった。毎日の生徒自らの真剣な練習が功を奏したと思う。

全国大会出場選手への激励

(男子主将 伊藤将大)



全国大会という大きな舞台でも、雰囲気は臆することなく、本来の射をしてくれると思います。自分達がたくさんの人に支えられ応援されていることを忘れずに自分達の力を信じて頑張ってください。

ソフトテニス部男子

ソフトテニス部顧問 中田克之

高総体では、三十八年ぶりの優勝ということですが、顧問として長年の夢を現で感謝しています。今後は、九州大会・全国大会でさらに大きな感動を多くの方々へ与えることができるよう精進していくつもりです。

(男子主将 松本幸次郎)



高総体では団体戦優勝、個人戦では二組のインターハイ出場を獲得しました。これもすべて、これまで私たちにサポートしてくださった方々のおかげだと思えます。また、九州大会・全国大会では長崎県代表としての誇りを持ってプレーしていきたいと思えます。

文化部の活躍

第二十八回全国高校囲碁選手権大会県予選 優勝

最後の夏・鋭い一手の発見を

三年五組 清島萌永

一年の夏の全国大会で準優勝し、三年生の夏を迎えました。追われる立場を捨て、チャレンジ精神で鋭い一手を発見し盤上に刻んで来ます。今年、団体戦も決勝で青雲高校の六連覇を阻み、出場権を得ました。橋本君(三年一組)、梅沢君(二年二組)と共に七月二十七日の全国大会で頑張ってください。

放送コンテスト

三年一組 白地 優

五月二十二日(土)、長崎ウエスレヤン大学で行われた中地区放送コンテストにおいて、アナウンス部門で二位二位を獲得しました。全体で二年は八名全員入賞、アナウンス部門三名、朗読部門二名が県大会に進みました。

六月十三日(日)、NHK長崎で行われた県大会ではアナウンス部門で白地・増田の二名が決勝進出を果たしましたが、十一位と十六位になり、惜しくも後一步の所で全国大会への切符をのがす結果となりました。

この大会で三年生は引退となりますが、今後の後輩の活躍に期待します。

他の部の主な成績

レスリング

団体 準優勝

個人 優勝

- 74kg 西田悠介
 - 84kg 本田博士
 - 96kg 廣瀬忠祐
- 入賞 大場真治、馬場祐太郎、野呂俊晴、前田幸輝、入江嘉将

ソフトテニス男子

個人 ベスト8 松本幸次郎・宮崎克洋組、平川拓大・永田裕大組

ソフトテニス女子

団体 ベスト16

バスケット男子

団体 ベスト16

陸上

400mハードル 4位 福田安良

テニス男子

個人 ベスト8

- ダブルス 伊藤 諭・鐘ヶ江孔二組
- シングルス 伊藤 諭

校長室から

柳川 伸一

花

八木 重吉

花はなせうつくしいか

ひとすじの気持ちで咲いているからだ

空梅雨気味のせいかわ、庭の紫陽花も心なしか鮮やかさに欠けていますが、今年の高総体で、島高生は見事な大輪の花を咲かせてくれました。県下最多の優勝旗四本です。これは選手たちと顧問の「ひとすじの気持ち」が通じたものと考えます。「文武両道」の校是の下、日々、鍛錬に励んだ賜物です。と同時に、他の運動部の頑張りと応援生徒たちの支えがあつての成果だと思つて言います。言い換えれば島高の総合力の表れと言つてもよいかと思つています。これまでの保護者の方々や地域の皆様方のご支援に感謝申し上げます。

さて、七月十五日(木)に、本校では初めての試みになりますが、「授業公開」を予定しています。これは今年度の努力目標の一つである「開かれた学校づくり」の一環として行うものです。島高の普段着の授業をご覧ください。時間は午後十二時五十分からです。どうぞお気軽にお出かけください。多くの皆様のご来校をお待ちしています。

第一学年から

高総体では、先輩たちの活躍が一年生にも大きな感動と勇気を与えてくれました。選手のみならず、応援者も一丸となっている姿に、我々も島高生の素晴らしさを再認識した大会でした。一年生は現在、総合学習「青楓の時間」で進路学習に取り組んでいます。これまで、「職業研究ガイダンス」「学部学科研究ガイダンス」「教育実習生による講話」「学部学科研究発表会」「大学教官による講話」を終え、今後、「コース説明会・進路講演会」を経て、来年度のコース選択に入る予定です。「学部学科研究発表会」では、調査研究の時間がなかなか確保できないにも関わらず、高い意識を持って素晴らしい発表をしてくれた班もありました。また、教育実習生の講話や大学教官による講話では、大学の研究内容や学生生活など、興味を持って聞いていました。将来の進路について

7月の主な行事予定

15日(木)	授業公開⑤、コース説明会・進路講演会(1年)
17日(土)	開講式④(3年)
18日(日)	公務員模試(3年)
20日(火)	小論文式票者送付期間(前期)
21日(水)	通保護者面談日(全年)
21日(水)	保護者面談日(前期)
21日(水)	保護者面談日(全年)
23日(金)	授業者講習(全年)

第1回授業公開

- 日時 7月15日5・6校時
⑤12:55~13:40
⑥13:50~14:35
- 対象 保護者・小中学校関係者・地域住民・その他希望者
- 受付 本校正面玄関
- 駐車 本校正面右手弓道場敷の駐車場
～どぞお気遣いお立ち寄りください～

8月の主な行事予定

1日(日)	夏雲講習(3年)												
4日(水)	仙学合宿(3年)												
9日(水)	学習日(3年)												
17日(火)	18日(水)	19日(木)	20日(金)	19日(木)	20日(金)	21日(土)	22日(日)	23日(月)	27日(金)	27日(金)	27日(金)	28日(土)	29日(日)

9月の主な行事予定

1日(水)	始業式							
2日(木)	小文化祭							
10日(金)	11日(土)	11日(日)	11日(日)	11日(日)	13日(火)	14日(水)	18日(土)	19日(日)

第二学年から



島高生は自分たちのことを「青き楓」と呼びます。青き楓たちが自分の進路を「探り」、「拓き」、「創る」を目的とした青楓の時間は、十五年度から実施されている総合的な学習の時間の島高版です。この青楓の時間に欠かせないのが、「青楓スクラップ」。調べたことや学んだことを次々とファイルするこの紙ファイルには、二年生のテーマで

てはまだまだ視野を広げていく必要があると思われま。今後、さらなる勉強会や体験を通して、一人一人がよりよい進路選択ができるよう、努めていきたいと考えています。

第三学年から

いよいよ七月になり本格的な夏がやって来ました。島原高校には冷房設備がありますがやはり受験生にとっては辛く厳しい季節なのではないでしょうか？島原高校では希望者に対して八月に雲仙で六泊七日の学習合宿を行います。一日約十一時間の学習に取り組みながら先生方も昼夜を問わず質問ができる体制を整えています。寝食を共にし、お互いに切磋琢磨しながら過ごす七日間です。もちろんこの期間だけ集中的に勉強しても効果は頭れません。しかし自分の限界まで努力をすることで、それまで自分の精一杯だと思っていたラインを引き上げることが目的としていきます。この合宿を終えて学校生活に戻った生徒たちはそれまでとは比較できないぐらいの集中力を持って日々過ごすことができるでしょう。

所々働く人の安全についても考えられていて、危険というイメージが強い原発で、その危険を取り除くためにいろいろな面で工夫されていることが分かりました。確かに、原子力発電には危険が伴うけれど、もしこれがなくなれば、今の私達の生活は成り立ちません。少なくとも、危険だからやめろというのは強引であり、今の生活や日本の消費電力など全部ひっくり返して考える必要があることを感じました。そして、見学して思ったことは発電方法がいかにか、悪いとかいう前にすべきなのは節電だということです。例えば、新たなエネルギーが見つかったとしても、使う量が多すぎれば十分にかまかなうことができないからです。実際に原発に行ってみて、正しい知識として知ることができてとてもよかったです。

理科から

「玄海原子力発電所を見学して」
一年七組 菅崎郁加

今日、初めて原子力発電所を見学しました。まず、サイエンス館で原子力発電の仕組みについて教えてもらい、今までどうやって発電しているのか知らなかったもので、とても勉強になりました。また、実際に目で見たり、触れることができ、話を聞くだけよりもよく分かりました。

発電所を見学したときは、2号炉は定期検査中でした。放射性物質という危険なものを取り扱うから当然のことなのだろうけれど、放射線対策だけでなく、蒸気を冷やすために使った海水を海に戻す時の温度など、細かいきまりがあることに驚きました。また、安全を守るために毎日訓練していることや発電

進路から

「たどり着くところ」

君は島高に何を目的にきましたか。入学時に胸に去来した思いはなんですか。

島高は君に限りない可能性をもたらします。そしてそれを開花させ素晴らしい成果をつかんだ数多くの先輩たちがいます。その先輩たちと共通していることは、みんな楽はしていないということです。しっかりと目標があり、それに伴う行動があったということです。高校時代に達成する目標は、決して人生の目標ではありません。所詮高校時代は人生の目標にたどり着くまでの通過点です。でも、この時しっかりと目標を持ち、行動を伴った人は、必ずや「満足感」を味わうことができます。努力の近道をする人々を歩む人は決して味わうことはできません。そして、人生でたどり着くべきところも、目標の違いこそあれ、実はこの「満足感」ではないでしょうか。

友と目的を共有し、共に努力をし、その成果をたたえ合い満足感に浸る。これが本物の高校生活でしょう。安っぽい見かけなどにこだわらず、自分のたどり着くべき所を見据え、口先ばかりでなく、行動してください。それが君の進路実現になるはずですよ。

今、学校に対する安全神話が崩れつつある。私は、そんな時代だからこそ学校は地域の拠点として、安全・安心な教育環境を保障し続けなければならないと思います。また、「文武両道」の校是のもと、「鍛えながら人材を育成する」「修練の場としての学校」を支えていくことが、本校の生徒指導の役割だと思っています。

「きついけど、忙しいけど学校生活は充実している」。学校にきて、友人の顔を見ると嫌なことと忘れられる。「学校には素直に一目置く友人・仲間がいる」。私は、毎朝重いカバンを持って立ち止まって挨拶するそんな生徒を応援していきたいと思っています。

生徒指導から

平成十六年度 地区PTA日程表

大三東	湯江	瑞穂	以北	堂崎	有家	白山東	白山西	布津	深江	多比良	土黒	神代	安中北	安中東	西有家	北有家	以南	雲仙	小浜
7/22	7/23	7/23	7/23	7/23	7/23	7/26	7/27	7/27	7/28	7/29	7/29	7/30	7/30	7/30	7/30	7/30	7/30	8/7	8/7
(木)	(金)	(金)	(金)	(金)	(金)	(月)	(火)	(火)	(水)	(木)	(木)	(金)	(金)	(金)	(金)	(金)	(金)	(土)	(土)
19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	18:30	18:30	18:30	19:00	19:30	19:00	19:00	19:30	19:30	19:30	18:30	18:30	18:30	13:00	13:00
21:30	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:30	21:30	21:30	21:00	21:00	21:00	21:30	21:30	21:30	14:00	14:00
有明町総合文化会館	もとよし食堂	船小屋	ちどり食堂	福寿荘	白山公民館	君の名は	ウエディング石川	料亭藤本	安中公民館	板屋旅館	真砂	高原ホテル							